

「せとうち発見の道」企画展

「地域のお宝発見展～埋蔵文化財～」

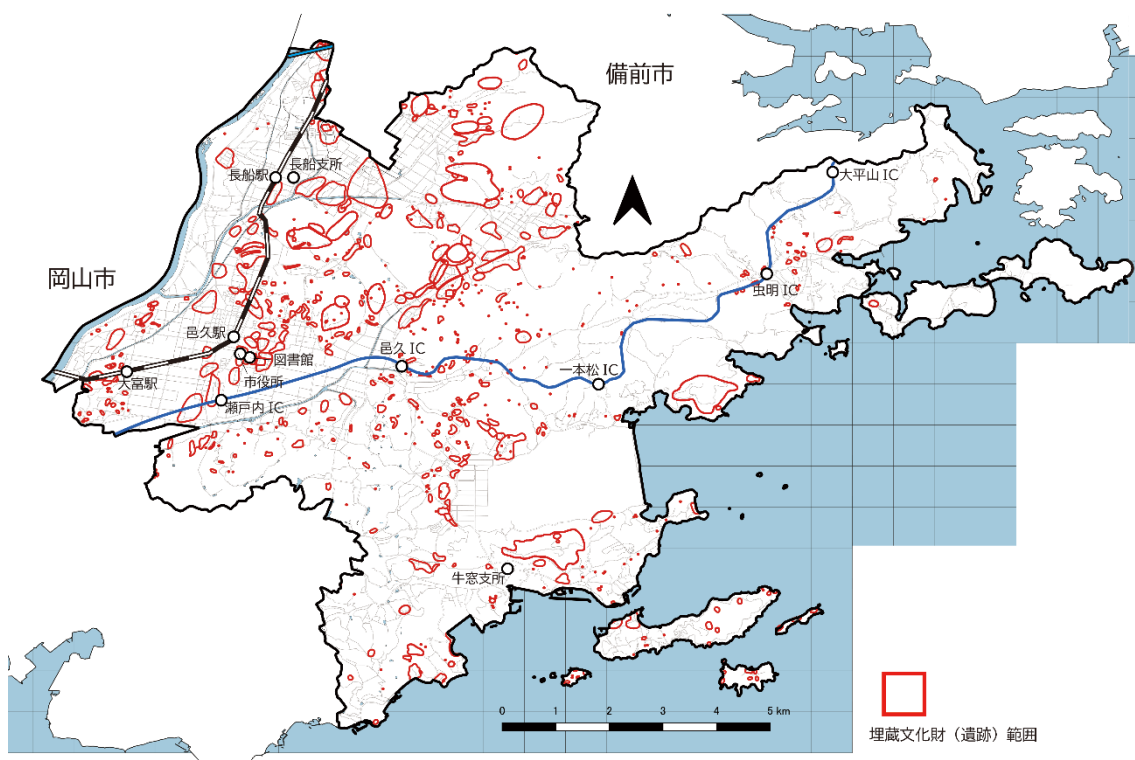
2024年2月29日(木)～5月26日(日)

於 瀬戸内市民図書館

瀬戸内市内には、多種多様な遺跡があり、その数は約 980 件にのぼります。それらは文化財保護法に基づき「埋蔵文化財」として保護されています。

本展示では、「埋蔵文化財」の調査で発見された「遺物」(過去人類によって作られたもの)を紹介します。

「埋蔵文化財」とは、有名な遺跡や・博物館にしか無い遠い存在ではなく、自分たちの生活している足元に埋まっている、身近な「地域のお宝」とであると実感していただければ幸いです。



瀬戸内市埋蔵文化財範囲

この地図の作成に当たっては、「国土地理院基本地図」及び「おかやま GIS (埋蔵文化財)」を使用しています。埋蔵文化財範囲は、平成 31 年のものであり、一部変更となっているものがあります。

主な参考文献

『史跡 寒風古窯跡群 瀬戸内市埋蔵文化財発掘調査報告1』瀬戸内市教育委員会 2009 年

『邑久町史 考古編』瀬戸内市 2006 年

『長船町史 史料編上』長船町 1998 年

『門田貝塚 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告55』岡山県教育委員会 1983 年

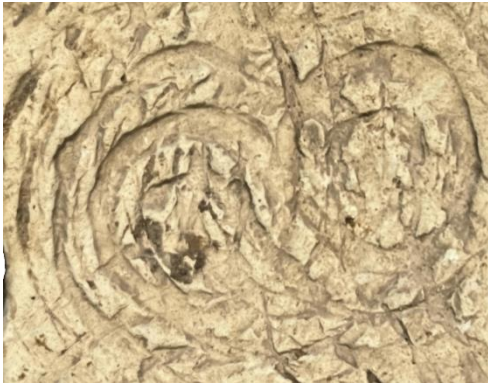
<埋蔵文化財とは>

埋蔵文化財とは、土地に埋蔵されている文化財のことです。この中には、昔の人が住んでいた住居跡、古墳などの埋葬施設、中世の戦国武将が戦った城跡など多種多様な性格の埋蔵文化財があります。

<製作技法を探してみよう>

展示されている土器をよく観察すると、当時の人たちが考えた文様や、土器を作る時についた技法の痕跡を見ることができます。ここでは、本展示に見られるものの一部を紹介します。

○^{あて ぐこん}当て具痕



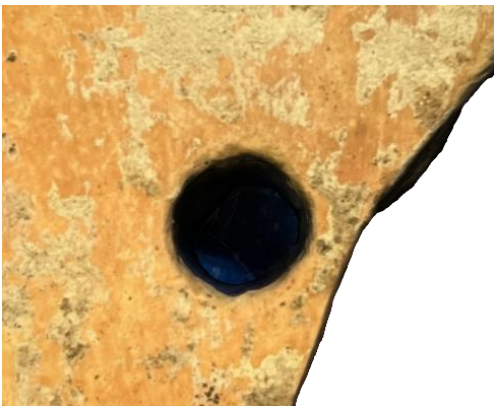
大型の甕^{かめ}などは、叩き成形がなされるため、内面と外面に独特の模様が見られます。

ヘラ^{が もん}描き文



ヘラ状の工具を用いて描かれた文様の総称です。

○^{すかしあな}透孔



高坏^{たかつき}の脚部^{きゃくぶ}などにあり、円形や三角形、方形などの形に穴を開けています。

○ヘラ^{はず}削り



ろくろを回転させながらヘラ状工具で表面を削るため、砂粒の向きから、ろくろの回転方向を知ることができます。